

# ロータリー米山記念奨学会 カウンセラーレポート

～奨学期間を振り返って～

記入年月日: 2001年3月27日

2680地区	明石北	ロータリークラブ	ロータリー会員歴: 年
カウンセラー氏名:	下村憲造		職業分類: 水産物加工配布
奨学生番号: A0862	奨学生氏名: 曾芳代	奨学金種類: YD	

1. カウンセラーを引き受けた奨学生は今回で何人目ですか 1 人目
2. 奨学生はクラブで決められた例会に出席をしましたか  
 a. 100%出席した      b. 連絡があり欠席したことがあった      回  
 c. 連絡なしで欠席をしたことがあった      回  
 d. その他(      )
3. 奨学生はクラブ会員との交流ができましたか  
 a. よくできた      b. まあまあできた(普通)      c. できなかった
4. 奨学生とは例会以外、どんな機会に交流をされましたか  
 a. クラブ特別行事       b. 地区の行事      c. 自分の家に招待した  
 d. その他(      )
5. 指導教員と連絡の機会を持ちましたか  
 a. 会って話をした      b. 電話で話をした      c. 一度も連絡をしなかった  
 d. その他( 最終例会に御招待したが急に御都合が  
悪くなり本当に残念でした。 )
6. 奨学生に卓話の機会を与えましたか  
 a. クラブの例会の中で与えた       b. 奨学生のいない近隣クラブに紹介をした  
 c. 与えなかった(理由:      )
7. 奨学生から相談を受けたり、助言を求められたことについて該当する項目すべてに○をつけてください。  
 a. ロータリー全般       b. 日本の生活       c. 学業      d. 指導教員との関係      e. 友人関係  
 f. 母国のこと      g. その他(      )
8. カウンセラーとしての体験談・ご感想・ご意見をお聞かせ下さい。

最初は2年間かぁ～長いなぁ～と思いましたが、本日ファンちゃんの例会最終訪問を終えると2年間も本当に短く感じ又とても淋しい気持ちになりました。クラブの皆さんや事務局の仙田さんとも名残を惜しみ、駅まで一緒に歩いて改札口で、また暫く立ち話をしましたがプラットホームに上がっていくファンちゃんの後姿は何故かチョッピリ淋しそうにも見えました。

ファンちゃんのお別れ卓話では「明石北RCのロータリアンとの交流が、ファンちゃんが人間的に成長する為の貴重な糧となりましたし、人を信じる事を余りしなかったけれど皆さんと触れ合って、人も信じられる様になりました」と涙ぐんで言ってくれた時は私も思わず、もらい泣きしてしまいました。ファンちゃんは台湾へ帰ってもロータリーの奉仕の心を忘れずに私達に喜んで貰える様な事を必ずしますからねとも言ってくれました。私はお金は多少少なくて、こう言う事がカウンセラーお父さんの役目だと思って頑張ってきましたので、ファンちゃんの最終卓話は私には何よりのプレゼントとなりました。クラブに又ファンちゃんのような娘が出来るといいなぁ～と思っています。

\*4月20日までに報告下さい。FAX:(03)3578-8281